



当社新技術に関する研究が 映像情報メディア学会「丹羽高柳賞（論文賞）」を受賞

オー・エイチ・ティー株式会社（広島県福山市神辺町、代表取締役：羽森寛）が東北大学と進めている研究成果の先進性が評価され、2022年5月27日、映像情報メディア学会「丹羽高柳賞（論文賞）」を共同受賞しました。

■受賞背景

研究開発したセンサは、従来の CMOS センサに比べ、精細度、空間分解能、リアルタイム計測性に極めて高い能力を有しています。その構造と製法を確立し、応用可能性を探索したことが評価されました。

電気を可視化できるという特性を活かし、当社では基幹事業の一つである電気回路基板の欠陥検査への応用を実用化しました。今後は、有機 EL やマイクロ LED などの先端表示デバイスの配線検査への応用を実用化し、次世代の表示デバイスの普及に寄与すべく開発を進めてまいります。

さらにライフサイエンスや生体認証等の分野で用途開発を進め、事業領域の拡大とセンサの進化改良に努めていく所存です。

<CMOS 近接容量イメージセンサー>



■受賞者

黒田理人、山本将大、須釜侑希、渡部吉祥、鈴木学、後藤哲也、須川成利（東北大学）
安田俊朗、村上真一、横道やよい、羽森寛（オー・エイチ・ティー株式会社）

■論文タイトル

High Accuracy High Spatial Resolution and Real-Time CMOS Proximity Capacitance Image Sensor Technology and its Applications

「高精度・高空間分解能・リアルタイム・近接容量 CMOS イメージセンサー技術とその応用」

掲載誌：MTA(ITE Transactions on Media Technology and Applications) Vol. 9, No. 2(2021)

(映像情報メディア学会が発行する英語論文誌)

<丹羽高柳賞（論文賞）表彰状>





■丹羽高柳賞 論文賞

丹羽高柳賞は、世界で初めてブラウン管による映像電送実験に成功した高柳健次郎氏と、東京電機大学初代学長であり、映像情報メディア学会の前身である社団法人テレビジョン学会初代会長の丹羽保次郎氏の功績を記念して設立されました。

丹羽高柳賞の論文賞は、その年度に発表された論文の中で、高い評価が得られた論文に対して与えられるものです。

■一般社団法人 映像情報メディア学会 <https://www.ite.or.jp/>

■オー・エイチ・ティー株式会社 <http://www.oht-inc.co.jp/>

■（ご参考）2019.01「高感度・高精細・リアルタイム近接容量イメージセンサを東北大学と共同開発」は[こちら](#)。

<お問合せ先>

オー・エイチ・ティー株式会社 社長室

〒720-2103 広島県福山市神辺町西中条 1118-1

Tel : (084)960-2120

以上